

第10回 本明川ダム建設事業費等監理委員会 議事要旨

■開催概要

- 開催日：令和3年6月2日（水）
- 開催場所：国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所

■事業概要

- 実施箇所：長崎県諫早市
- 事業期間：平成2年度～令和6年度
- 総事業費：約500億円

■報告内容（概要）

- 主な事業の進捗状況
 - ・事業費の推移、用地買収の進捗状況、付替県道・付替市道・工用道路の進捗状況を報告。
- 令和3年度の事業実施内容
 - ・令和3年度に実施する付替道路や工用道路、ダム本体調査設計、環境調査検討、景観検討、ダム事業に係る広報について内容を説明。
- コスト縮減
 - ・ダム用骨材の有効活用によるコスト縮減について説明。
 - ・施工方法（転流方式）の変更によるコスト及び工期短縮について説明。
 - ・発生土砂の盛土材への活用によるコスト縮減の取組み及び他事業との事業調整による建設発生土（転石）の有効活用を説明。
- 今後の事業展開
 - ・令和3年度以降の事業展開について説明。

■議事概要

- 今年度までの進捗状況及び令和3年度の事業実施内容について確認した。
- 地域の魅力向上や自然環境の保全、コスト縮減及び工期短縮方策については、継続して検討を行うこと。
- コスト縮減を求めるあまり、必要な品質などが損なわれないように、注意しながら事業を進めること。
- ダム建設事業を進めるにあたっては、ダム建設予定地周辺及び受益地である下流域の方々双方に理解を得られるように努めること。